

4. 基本方針と目標、施策・事業の体系

県内の公共交通の現状や上位・関連計画における方向性、課題等を踏まえ、本計画の基本方針と目標を次のとおり設定し、目標を達成するため、次に示す施策と事業を位置づけ、関係者で実施します。

基本方針 四国の新幹線の実現を見据え、鉄道を中心に、県全体で利便性と結節性に優れた持続可能な公共交通ネットワークを構築する

	施策	事業	特定事業 (※)	実施主体			スケジュール				
				県	市町	交通事業者	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度
目標1 公共交通の維持 とネットワーク の最適化	1-1 最適な移動サービスの提供	① 安全性を含む公共交通ネットワークの維持・確保		●	●	●	継続的な実施				
		② 担い手確保の取組		●	●	●	検討及び実施				
		③ 先進事例の研究及び実装の検討		●	●	●	実施（適宜見直し）				
	1-2 まちづくりとの連携	① 駅を一つの拠点としたまちづくり	●	●	●	●	継続的な実施				
		② 新駅の整備	●	●	●	●	実施（適宜見直し）				
	1-3 四国の新幹線の早期実現に向けた取組の推進	① 機運醸成・要望活動			●	●	●	継続的な実施			
② 新幹線整備に伴う効果等調査・研究の実施				●	●	●	実施（適宜見直し）				
目標2 利便性の確保	2-1 サービス水準の向上	① 利用しやすいダイヤへの改善	●	●	●	●	実施（適宜見直し）				
		② 施設・設備の改善	●	●	●	●	実施（適宜見直し）				
	2-2 利用環境の改善	① 駅や車両のバリアフリー化	●	●	●	●	継続的な実施				
		② 駅や待合所の環境整備・多機能化		●	●	●	継続的な実施				
		③ キャッシュレス決済の推進	●	●	●	●	継続的な実施				
	2-3 交通モード間の結節性の強化	① 交通結節点の整備・充実	●	●	●	●	継続的な実施				
② 交通モード間の連携強化		●	●	●	●	検討及び実施					
③ デジタル技術等の活用			●	●	●	検討及び実施					
目標3 利用の促進	3-1 公共交通の利用意識の醸成	① 利用促進・啓発活動の実施	●	●	●	●	継続的な実施				
		② 地域のイベントとの連携	●	●	●	●	実施（適宜見直し）				
	3-2 他分野との連携	① インバウンドを含めた観光客の利用促進	●	●	●	●	実施（適宜見直し）				
		② 多様な分野と一体となった利用促進	●	●	●	●	検討及び実施				

(※) 地域公共交通計画に定められる事業のうち、特に重点的に取り組むことが期待される事業。この事業は国による認定制度が設けられており、認定を受けた事業については、関係法律の特例による支援措置を受けることができる。